

職リハ学会通信

No. 185 2026年 3月発行

目次

第53回埼玉大会のご案内	2P
運営理事会報告	3P
委員会報告	6P
事務局からのお知らせ	6P

第 53 回埼玉大会のお知らせ

学会員の皆様、日頃より多大なるご支援を賜り、心より感謝申し上げます。去る 2 月 7 日(土)、オンラインにて開催いたしました「プレ大会」には、全国から 53 名の皆様にご参加いただきました。

■ プレ大会のご報告：プロフェッショナルを問い直す

前半のシンポジウムでは、「職業リハビリテーションのプロフェッショナルとは」をテーマに、3 名の登壇者(研究者の藤川真由氏、実践者の井上量氏、当事者の瀬戸麻貴氏)をお迎えしました。「プロフェッショナル」という奥深いテーマに対し、それぞれの歩みから得られた示唆に富むお話をいただき、後半のブレイクアウトルームでの意見交換も非常に活発なものとなりました。

【お知らせ】

前半のシンポジウムの様子は、後日、学会ホームページにて公開予定です。当日ご参加いただけなかった方も、ぜひご視聴ください。

■ 第 53 回大会（埼玉大会）のご案内

9 月、聖学院大学にて本大会を開催いたします。

- 日程：9 月 18 日(金)・19 日(土)
- 会場：聖学院大学(埼玉県上尾市)
- テーマ：「プロフェッショナルとは何か？今こそ向き合う、職リハ支援の本質」

本大会は、八重田淳大会長(筑波大学)の専門領域に深く根ざしたテーマを掲げています。研究者、実践者、そして当事者の皆様が対等に集う場である本大会の主役は、参加者の皆様お一人おひとりです。「もっといい支援をしてみたい！」という思いが動き出す場、日々の悩みのヒントを探す場、志を共にする仲間と出会う場。埼玉大会がそうした場になることを願い、対話を通じて明日への活力を分かち合える充実した二日間となりますよう、実行委員一同、心を込めて準備を進めております。

■ 注目プログラムのご紹介

● 世界最先端の知見(9/18 13:30～)
米国より「自己決定支援」の第一人者、キャリー・A・ショグレン教授(カンザス大学)をお招きし、大会長講演・基調講演を開催します。

● 政策委員会主催シンポジウム(9/19 10:40～)

「障害者の就労支援の『質』を担保する：障害者就労支援士の活用を視野に置いて」をテーマに、小川浩教授(大妻女子大学)や厚生労働省の方などにご登壇いただきます。

● 大会企画シンポジウム(9/19 13:30～)

「生成 AI×職業リハビリテーションの最前線」という、今もっとも注目されるテーマに切り込みます。ご登壇者として、榎本大貴氏(株式会社 LITALICO)、藤井亮輔氏(パーソルダイバース株式会社)、奥脇学氏(有限会社奥進システム)をお迎えします。

● 心ほどけるひとときを

開会式では、聖学院大学ならではのおもてなしとして、パイプオルガンのミニコンサートを企画しました。多彩な音色に包まれる特別な時間をお楽しみください。

■ お申し込み・演題募集

4 月 1 日より、いよいよ各種申し込みがスタートいたします。

項目	受付期間
演題申込	4 月 1 日(水)～ 6 月 5 日(金)
参加申込	4 月 1 日(水)～ 8 月 14 日(金)

【公式ホームページ】

<https://www.k-gakkai.jp/shokuriha53>

初秋の埼玉、聖学院大学で皆様とお会いできることを、実行委員一同、心より楽しみにお待ちしております。

(実行委員長 石原まほろ)